

## 第21回春咲きコンサート開催趣旨

「春咲きコンサート」は、昨年20歳の誕生日を迎えました。  
そして、平成29年3月に21回目の春を迎えようとしています。  
これまで、春咲きコンサートに関わって下さった多くの方々に感謝しながら、  
ここからまた一歩踏み出し、前を向いていっしょに歩いていきたいと思えます。

今、「医療」「介護」「福祉」において“地域”が求められています。  
当事者の意思に即しているかは別として、“地域”が求められています。

地域生活を後押しするかのようにより、「地域福祉計画」「地域福祉活動計画」「地域包括ケアシステム」「地域医療構想」など目白押しに地域医療介護福祉構想推進に向かって進んでいます。

でも、本当に支援が必要な方は地域を求めておられるのでしょうか？  
もし、あなたが「何らかの支援」が必要になったとき「何」を希望されますか。  
生まれ育った地域での24時間支援体制の施設ですか？  
この決定も、ご本人だけではなく、ご家族の意向もありますね。  
意思決定支援が必要な方、意思形成支援が必要な方は何を希望されるのでしょうか。

**ただ言えることは**

「いつでも・どこでも・だれでも」“同じ支援”が受けられることが必要です

**そして**

支援が必要な方もそうでない方も“同じ生活”を送れることが大切です。

みんな“あたりまえの生活”を求めているのです。

**大切なものは**

人の“命”です。輝ける命を大切にできる社会。

たとえ、障がいをもっても、それが重度であっても、“命”の尊さはかわりません。

相模原の障がい者施設「津久井やまゆり園」の事件のように“障がいのある人の生きる権利”まで奪うような痛ましい事件が再び起こらない“地域社会”を創るために。

## ～みんなで創るみんなの街～

みなさま

“春” と言えば どの様な イメージですか？



あなたの春を  
想像して下さい

“咲く” と聞けば どの様な イメージですか？



あなたの咲くを  
創って下さい

そして

「春咲きコンサート」は どの様な イメージですか？



あなたの春咲きを  
創って下さい

「春咲きコンサート」は、昨年20回の誕生日を迎えました。  
20歳+1歳。

新たな一步を踏み出した「第21回春咲きコンサート」をご覧ください。

ただ 21年 が過ぎても 変わらないのは

### 『福祉で街づくり』

障がいをもつ人たちだけが 優遇 される“街”ではありません。

すべての人が “共生”（共に生きる）できる街。

すべての人が “互助”（助け合える）できる街。

そんな街 奈良 になってほしい“希”（ささやかな願い）なのです。

すべての人が“幸福”でなければ 個人の“幸せ”はありません。

3月19日 いっしょに なら100年会館を“幸福”でいっぱいにしませんか？